

Q: 市内観光地等へのスポーツバイクラックの設置について



A: 設置可能な場所にスポーツバイクラックを配置してまいります。

伊谷賢司議員

観光地周辺整備について

伊谷 5月28日・29日両日にわたり天理教災害救援ひのきしん隊による榮山寺遊歩道整備に心より感謝申し上げます。

県による榮山寺西側トンネル工事に合わせた周辺整備等の取組予定について伺う。

都市整備部長 県道五條吉野線の通学の安全性確保の面でも、県と本市の地域包括協定において、東地区エリアの検討を行い、事業に取り組んでまいりたい。

伊谷 行政情報を市民の皆様にもスマートかつリアルタイムに発信するためにQRコード活用に取り組んでみるのも市の魅力を見える化の一つのツールと考えられるが、市の見解を伺う。

各部署の状況及び取組について答弁がありました。

サイクルステーションの充実について

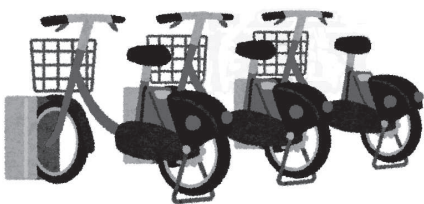
伊谷 健康志向とともにサイクルスポーツ人気も年々高まり、環境的にも良い事だと思ふ。市内観光地・公共施設等へのスポーツバイクラック設置について伺う。

産業環境部長 設置可能な場所にスポーツバイクラックを設置してまいりたい。

伊谷 奈良県の「サイクリストにやさしい奈良」を本市において、より具体的な取組の検討が必要と思ふ。各部・各課が連携を密にしなから進めば良いが、総合的な役割を行う部署が必要かと思ふが見解を伺う。

市長公室長

サイクルリストにやさしい取組が実施できるよう、総合窓口となる部署の明確化を全庁的に検討し



進めてまいりたい。

伊谷 五條市観光交流センターのならクルサポーター「自転車休憩所」への登録について伺う。

都市整備部長 登録及び情報の掲載に向けて準備を行っている。

みどり園の跡地利用について

伊谷 前回の一般質問で、ドッグランをコアとした集客ができるような拠点施設を整備、将来的に拡張性を踏まえた計画・企画を作成してほしいとお願いしたが、その後の進捗について伺う。

産業環境部長 地域活性化・災害対応・多くの人々が訪れてくれる施設を基本に計画を進めてまいりたい。

伊谷 ドッグランをコアとした整備について、市民の皆様にも理解を得るには公的な役割も大変重要かと思われる。特に本市は紀伊半島大水害に見舞われた教訓を生かしたまちづくりを進

めているが、そういった利活用について伺う。

産業環境部長 災害救助犬等の施設として活用することと、より機動力のある人命救助体制を構築したい。

伊谷 災害時は飼い主とともにペットも被災することになるが、ペット避難所としての対応について伺う。

産業環境部長 ドッグラン施設を利用してペットの避難場所を確保することも考えていく必要があるが、検討会等で議論を深めてまいりたい。

南奈良総合医療センターへのアクセス道となる(仮称)東阿田西阿田線の今後の具体的な整備計画並びに完了時期について

伊谷 整備計画について伺う。

都市整備部長 平成31年度末を目標に用地買収を完了し、供用開始に向けて計画的に進めてまいりたい。



岩本 孝議員

Q: こんぴら館の運営について

A: 今後ドッグランの整備を行い、ペット連れ利用者など多くの方に利用してもらえよう努める。

こんぴら館の運営について

岩本 五條市西吉野交流センター（愛称こんぴら館）が休館に至った経緯と現状についてお尋ねする。

産業環境部長 平成9年4月に地域の特産品と展示及び販売、各種情報発信による都市住民との交流及び地域住民相互の連帯と地域の活性化に資することを目的にオープン。平成17年9月の市村合併後は市直営、平成21年7月から指定管理者による運営。しかし平成23年9月の紀伊半島大水害による国道168号の甚大な被害により十津川方面の通行量が激変し、経営が厳しい状況となり指定管理満了後は更新されなかった。平成24年度から一般財団法人大塔ふるさとセンターが指定管理者となったが、経営不振で平成25年4月から休館状態。しかし耐用年数が34年あり閉館できないため、平成29年11月30日から再開。現在は大塔の道の

駅との区別化を図り、地域の特産品や五條市で製造したペットフードの販売、観光情報の発信を行っている。**岩本** 館内の商品が少ないが、市内の業者が品物を販売をしてもらえるのか何う。

産業環境部長 道の駅と区別できるなら可能である。**岩本** 今年4・5回訪れたがお客様が少ない。今後の計画についてお尋ねする。**産業環境部長** 今後はこんぴら館の裏側にドッグランの整備を行い、ペット連れの利用者の集客など、より多くの方に利用してもらえよう努める。**岩本** 天辻の道の駅と変わらないようにお願いします。**有害鳥獣対策について**
岩本 有害鳥獣対策は私のテーマとして取り組んでいる。捕獲状況についてお尋ねする。**産業環境部長** 平成29年度捕獲実績はイノシシ1,572頭、鹿3,977頭、アライグマ1,533頭、合計で2,

122頭。昨年度より453頭(27%)多く捕獲した。**岩本** 平成29年度防護柵事業の実績をお尋ねする。**産業環境部長** 74団体、延長99km、事業費1億8百万円の整備を実施。平成28年度より、延長19%増加、事業費2%増額となる。

岩本 今年度の対策についてお尋ねする。**産業環境部長** 今年度国・県からの補助配分額は9千2百万円の内示、その範囲内で計画し実施してまいらる。**岩本** ハンターの育成についてお尋ねする。**産業環境部長** アライグマ捕獲従事者講習会において、平成29年度実績は58名、平成30年度は50名が受講、平成29年度の狩猟免許の取得者数は13名である。**岩本** ICT(情報通信技術)機器を活用した捕獲等の状況についてお尋ねする。**産業環境部長** これまでICTの温度センサー、距離センサーを利用した電気式

トリガーのアニマルセンサーを13台導入。捕獲実績は平成27年度18頭、平成28年度49頭、平成29年度49頭、累計116頭捕獲。**岩本** 今年3月養父市と関西電力などがICTを利用した有害鳥獣の捕獲システムの検証に乗り出したと報道があった。参考にしてほしい。

また、ジビエール五條の販売状況をお尋ねする。**産業環境部長** 平成29年度の販売実績は、イノシシ(精肉)610万円、鹿(精肉)130万円、ジビエール260万円、燻製肉50万円。合計で1,050万円が流通した。平成28年度販売実績720万円に対し、約330万円、46%増額した。**岩本** ジビエール五條までの市道で舗装の悪い所が見受けられるがその対応を伺う。**都市整備部長** 本年度に部分的な補修を予定している。**岩本** 財政状況のひっ迫している中、有害鳥獣対策事業の継続に感謝する。

Q: 通学路の危険な箇所の把握について

A: 要対策箇所の整備完了後も、毎年通学路安全推進連絡協議会を開催し安全確保に努めている。

福塚 実議員



消防学校と自衛隊駐屯地誘致について

福塚 進捗について伺う。

危機管理監 これまでに消防学校併設の県広域防災拠点の基本構想調査を実施、今年度は規模等の検討を実施予定、また陸上自衛隊駐屯地誘致は、平成30年度政

府予算に二百万円が計上、昨年度に引き続き県との共同調査が実施予定である。

福塚 五條市の一大事業、

また活性化と考えるが、地元や地域住民にできるだけ早く方向性を示せる形で進んでいただきたいと思う。

五條市学校適正化について

福塚 説明会参加人数や主な意見について伺う。

教育部長 1月に学校適正化基本計画(案)公表後、

2月に説明会を実施、3月から5月にかけて要望のあった地域及び早い時期に適正化対象となる地域7か所で説明会を実施、計275

名の参加があり、「パブリックコメント手続での意見

や説明会での意見を反映してほしい」「まちづくりの

政策と連携し子供の数が増えるような施策をしてほし

い」等の意見があった。

福塚 過去現在の出生率を見据えて将来的には一

中を踏まえて教育環境の充実を考えて進めなくては

いけないと考える。

市長 地元の皆さん、また

保護者、先生の意見を拝聴しながら検討しなくてはならないと思う。意見統一、

また地域の方との合意形成を得ながら進めていくことは大事であると考えている。

福塚 教育環境の充実は子供にとって大切である。子

供は五條市の宝・財産であるので、市や教育委員会、

父兄・地域と連携がとれる形で進めていただきたい。

通学路の防犯や安全対策について

福塚 通学路の危険な箇所の把握やグリーンベルトの

劣化などがあるが、現状について伺う。

教育部長 平成27年度に全

ての要対策箇所の整備が完了し、その後も各関係機関と連携し、毎年通学路安全

推進連絡協議会を開催し、通学路の安全確保に努めている。

また、以前整備した歩行者用グリーンベルト等につ

いても、再点検を行い維持修繕に努めてまいりたい。

福塚 本市の不審者情報の取扱いについて伺う。

教育部長 学校等からの情報は当該校に確認を行った上、警察に連絡、FAXや

教育ネット等により市内全ての学校等へ情報を迅速に提供し、周知に努めている。

また、情報提供後数日間

は警察と連携し、児童・生徒の下校時間に合わせて巡回パトロールを行うなど、

巡視活動強化に努めている。

福塚 不審者情報の提供は、

が、登録されていない父兄に対しての通知はどうなっているのか、また高等学校への連絡について伺う。

教育部長 メール登録して

いない保護者へは直接保護者に電話連絡を行ったり、

児童・生徒に直接注意喚起を行っている。高等学校への連絡は、今年の5月から

事実によって区別せず、全

て連絡を行う体制をとっている。

福塚 情報の共有は大変重要だと思う。子供たちの安全を守るためにもしっかりと

と取り組んでいただきたい。





Q: 五條市のいじめや不登校の現状について

A: いじめの指導継続は小・中学校で12件、学校規模での差はなく、過去6年いじめが原因の不登校はない。

養田全康議員

小・中学校の現状と学校適正化について

養田 小・中学校では児童・生徒数の減少のなか、免許外教科指導があると聞くが、臨時免許の交付や教師の授業レベルチェックは誰が行っているのか伺う。

教育部長 臨時免許は県教育委員会が交付し、教師の資質や授業レベルは校長が判断している。

養田 どのような科目でもあっても一定の授業レベルは必要と思う。加配の先生や教科外教師において市教育委員会でもレベルチェックをお願いする。

また、中学校英語専科教員の小学校派遣は五條市の全ての小学校に派遣出来ているのか伺う。

教育部長 7校に派遣、1校は派遣をしていない。その1校については小学校教師の英語授業でいけるとの判断をしているが、来年度からはより有効な施策にしたい。

養田 英語だけでなく体育やその他授業も専門教師が小学校でも指導できるように施策を広げていただきたい。

また、不登校やいじめは全国的には減少傾向であるようだが五條市ではどのような数位にあるか、大規模校と小規模校ではどちらが多いのか、いじめが原因で不登校になった事例はあるのか伺う。

教育部長 五條市では不登校は横ばい状態で増加はない。いじめは小学校で11件、中学校で1件指導継続している。大規模・小規模偏りがなく過去6年間いじめが原因の不登校はない。

養田 今後もしじめや不登校が起らないように子供たちのサポートをお願いする。

そして中学校の部活動について、現在合同チームを余儀なくされる競技があるが、教育委員会で人数の把握や保護者への周知をどのようにしているのか伺う。

教育部長 部活動の人数把握まではしていない。

養田 学校適正化を進めるなかで、今の状態を変えるための適正化だと認識はするが、市民説明をしっかりとし現状を把握し進めるべきだとお願する。

また、次の案を市民に示される時期について伺う。

教育部長 市民には7月中旬にお示しする予定である。

人口増加対策と交流人口増加対策について

養田 人口増加対策のなかで思い切った施策をする必要があると考えているが、住宅取得補助金などの現状の施策をしっかりと検証し、費用対効果を算出しているのか伺う。

市長公室長 平成29年度までの3年間で62世帯127名が五條市に移住をされている。本制度では5年以上五條市に住んでいただくようになつており、税収面で補助費用が回収される制度設計になっているが、今後

も細かな部分まで費用対効果の検証を進めてまいる。

養田 施策施行より3年が経過し5千万円以上補助しているが、部内協議を更に進めて検証し、結婚相談事業についても費用対効果の検証をお願いする。

また、思いきった施策のなかで保育料の無償化を検討課題にしていたきたい。交流人口増加施策では、

平成24年以降奈良県では外国人訪問客が増加している。アジア圏内の小・中・高における教育旅行が日本に多く来てくれているなか、五條市でも今後教育旅行誘致に向けて活動をお願いする。



その他の一般質問
太陽光を含む開発事業の管理について